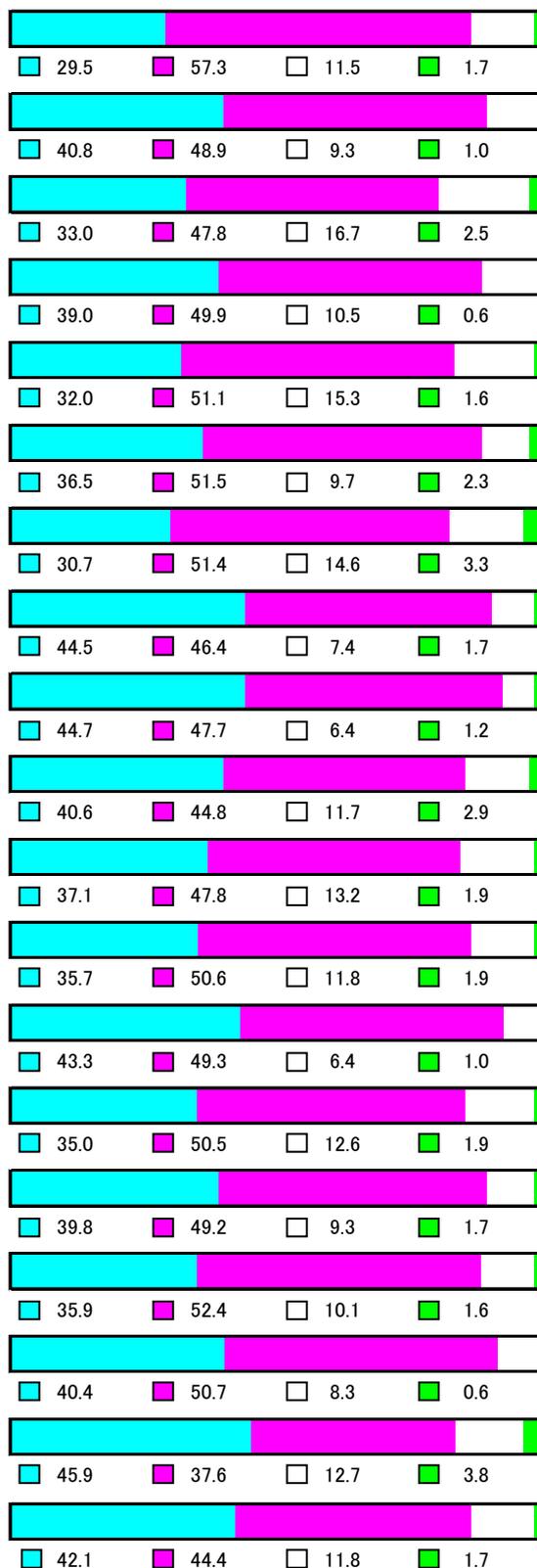


# R7 学校評価アンケート 集計結果

## ① 高校部 生徒

No	項目
No. 1	生徒一人ひとりに必要な知識・技能を身につけさせ、自らの未来を切り拓く人材の育成を図っている。
No. 2	I C T機器や施設の充実を図り、質のよい教育活動を行うよう努めている。
No. 3	生徒の状況や個性に応じた教科指導がなされている。
No. 4	授業では、I C T機器・Googleアプリの活用や、主体的・協働的学習の導入などの工夫がされている。
No. 5	学力向上を目指し、学習習慣を定着させる指導を適切に行っている。
No. 6	生徒の適性を生かし、希望に沿った進路指導を行っている。
No. 7	学習に対する意欲の高まる教育相談やホームルーム指導を計画的に行っている。
No. 8	進路に関する情報を十分に提供している。
No. 9	進路講演会、進路ガイダンス、進路相談などを通して効果的な進路指導を行っている。
No. 10	学校行事や部活動、生徒会活動を工夫して行っている。
No. 11	基本的な生活習慣や社会のルール、マナーなどが身につくよう適切に指導を行っている。
No. 12	いじめの未然防止と早期発見・対応に向けて、道徳教育、個人面談や生活アンケートなどが適切に行われている。
No. 13	安全や健康についての教育（交通安全、薬物乱用防止、避難訓練等）を適切に行っている。
No. 14	教員やスクールカウンセラーが生徒の悩みや相談に親身になって応じている。
No. 15	ケガや病気のと看、適切な対応をしている。
No. 16	快適な学校環境を築くため、整備や美化に力を入れている。
No. 17	教育活動に係る情報を、I C T機器を活用して積極的に発信している。
No. 18	スクールバスは安全で便利である。※スクールバス利用者のみ回答
No. 19	野田学園に入学して良かったと思っている。

■ そう思う      ■ どちらかといえばそう思う  
■ どちらかといえばそう思わない      ■ そう思わない

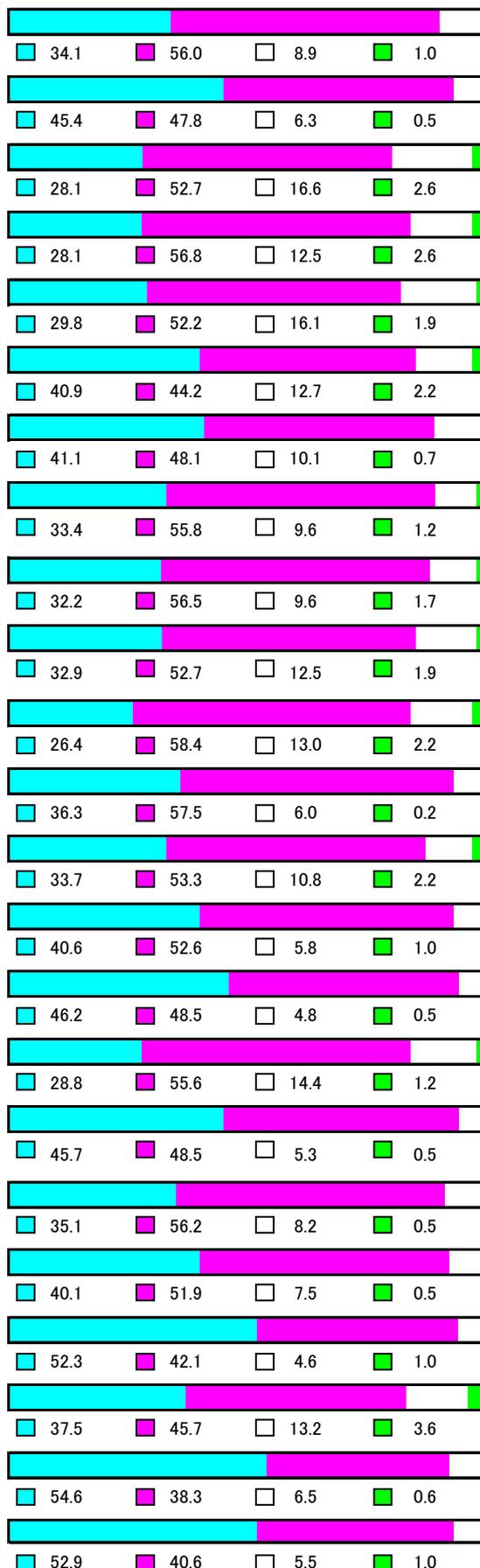


# R7 学校評価アンケート 集計結果

## ② 高校部 保護者

No	項目
No. 1	生徒一人ひとりに必要な知識・技能を身につけさせ、自らの未来を切り拓く人材の育成を図っている。
No. 2	I C T機器や施設の充実を図り、質のよい教育活動を行うよう努めている。
No. 3	生徒の状況や個性に応じた教科指導がなされている。
No. 4	学力向上を目指し、学習習慣を定着させる指導を適切に行っている。
No. 5	学習に対する意欲の高まる教育相談やクラス指導を計画的に行っている。
No. 6	進路に関する情報を十分に提供している。
No. 7	進路講演会、進路ガイダンス、進路相談などを通して効果的な進路指導を行っている。
No. 8	学校行事や部活動、生徒会活動を工夫して行っている。
No. 9	校則やきまりは適切に定められており、基本的な生活習慣やルール、マナーなどが身につく指導を行っている。
No. 10	生徒指導において、学校と家庭の連携が適切に行われている。
No. 11	いじめの未然防止と早期発見・対応に向けて、道徳教育、個人面談や生活アンケートなどを適切に行っている。
No. 12	安全や健康についての教育（交通安全、薬物乱用防止、避難訓練等）を適切に行っている。
No. 13	教員やスクールカウンセラーが生徒の悩みや相談に親身になって応じている。
No. 14	生徒がケガや病気のと看、適切な対応をしている。
No. 15	快適な学校環境を築くため、整備や美化に力を入れている。
No. 16	保護者と連携を図りながらP T A活動を適切に行っている。
No. 17	保護者会の回数、実施時期及び懇談内容は適切である。
No. 18	地域社会と連携した教育活動を通して、開かれた学校づくりをしている。
No. 19	教育活動に係る情報を、I C T機器を活用して積極的に発信している。
No. 20	教職員の電話対応や保護者への対応は適切である。
No. 21	土曜日授業（Myサタデー・プログラム含む）や夏期特別授業は生徒の学習や学力向上に効果的である。
No. 22	スクールバスは安全で便利である。 ※スクールバス利用者のみ回答
No. 23	野田学園に入学させて良かったと思っている。

■ そう思う      ■ どちらかといえばそう思う  
■ どちらかといえばそう思わない      ■ そう思わない

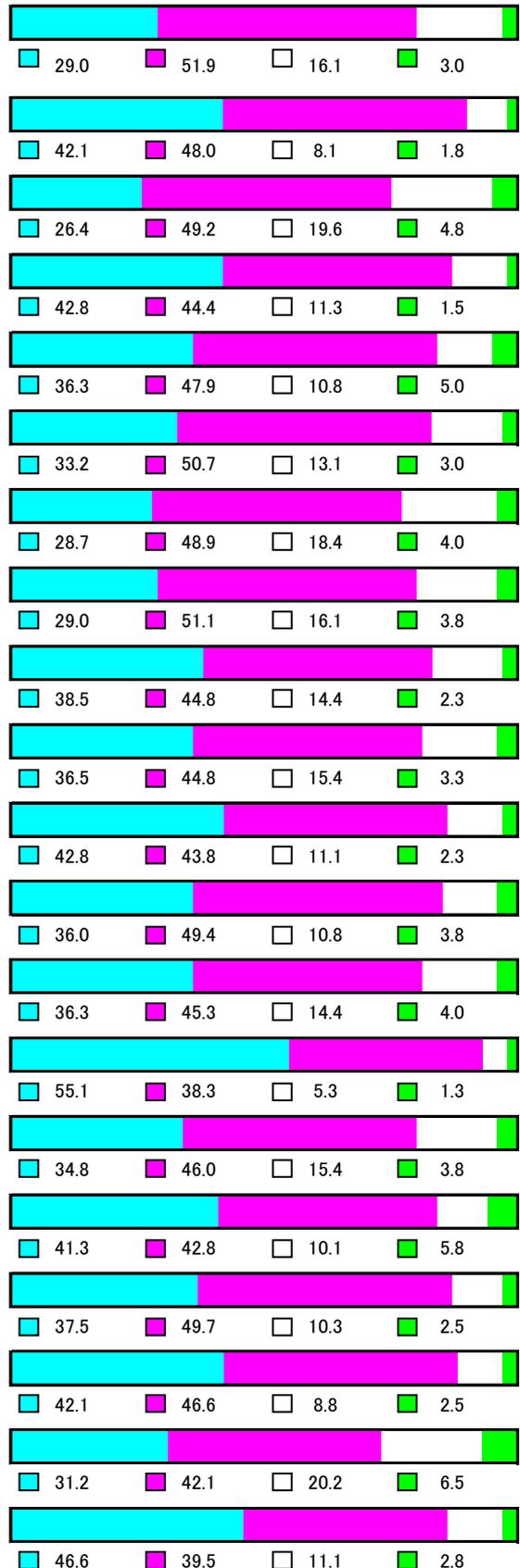


# R7 学校評価アンケート 集計結果

## ③ 一貫部 生徒

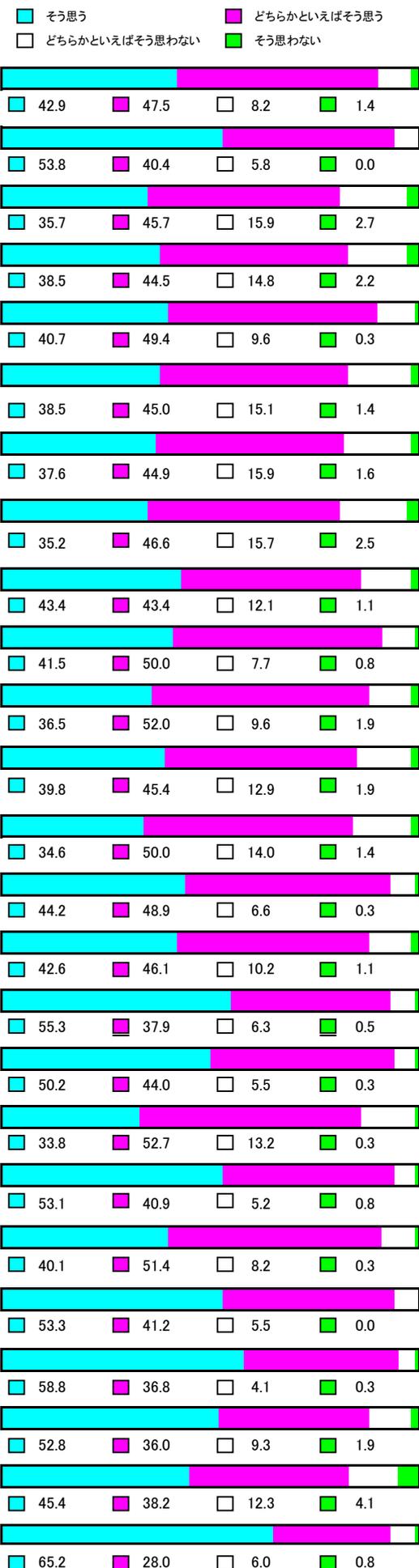
No	項目
No. 1	生徒一人ひとりの個性を尊重し、高い知性と豊かな人間性を育成している。
No. 2	I C T機器や施設の充実を図り、質のよい教育活動を行うよう努めている。
No. 3	生徒の状況や個性に応じた教科指導がなされている。
No. 4	授業では、I C T機器・Googleアプリの活用や、主体的・協働的学習の導入などの工夫がされている。
No. 5	「探究活動」では生徒の主体的な学びを促し、自己理解につながる指導を行っている。
No. 6	学力向上を目指し、学習習慣を定着させる指導を適切に行っている。
No. 7	学習に対する意欲の高まる教育相談やクラス指導を計画的に行っている。
No. 8	生徒一人ひとりの能力・資質の伸長につながる進路指導を、6年間を見通して行っている。
No. 9	進路に関する情報を十分に提供している。
No. 10	進路講演会、進路ガイダンス、進路相談などを通して効果的な進路指導を行っている。
No. 11	学校行事や部活動、生徒会活動を工夫して行っている。
No. 12	基本的な生活習慣や社会のルール、マナーなどが身につくよう適切な指導を行っている。
No. 13	いじめの未然防止と早期発見・対応に向けて、道徳教育、個人面談や生活アンケートなどを適切に行っている。
No. 14	安全や健康についての教育（交通安全、薬物乱用防止、避難訓練等）を適切に行っている。
No. 15	教員やスクールカウンセラーが生徒の悩みや相談に親身になって応じている。
No. 16	ケガや病気のと看、適切な対応をしている。
No. 17	快適な学校環境を築くため、整備や美化に力を入れている。
No. 18	教育活動に係る情報を、I C T機器を活用して積極的に発信している。
No. 19	スクールバスは安全で便利である。 ※スクールバス利用者のみ回答
No. 20	野田学園に入学して良かったと思っている。

■ そう思う                      ■ どちらかといえばそう思う  
■ どちらかといえばそう思わない    ■ そう思わない



# R7 学校評価アンケート 集計結果 ④ 一貫部 保護者

No	項目
No. 1	生徒一人ひとりの個性を尊重し、高い知性と豊かな人間性を育成している。
No. 2	I C T機器や施設の充実を図り、質のよい教育活動を行うよう努めている。
No. 3	生徒の状況や個性に応じた教科指導がなされている。
No. 4	学力向上を目指し、学習習慣を定着させる指導を適切に行っている。
No. 5	「探究活動」では生徒の主体的な学びを促し、自己理解につながる指導を行っている。
No. 6	学習に対する意欲の高まる教育相談やクラス指導を計画的に行っている。
No. 7	生徒一人ひとりの能力・資質の伸長につながる進路指導を、6年間を見通して行っている。
No. 8	進路に関する情報を十分に提供している。
No. 9	進路講演会、進路ガイダンス、進路相談などを通して効果的な進路指導を行っている。
No. 10	学校行事や部活動、生徒会活動を工夫して行っている。
No. 11	校則やきまりは適切に定められており、基本的な生活習慣やルール、マナーなどが身につく指導を行っている。
No. 12	生徒指導において、学校と家庭の連携が適切に行われている。
No. 13	いじめの未然防止と早期発見・対応に向けて、道徳教育、個人面談や生活アンケートなどを適切に行っている。
No. 14	安全や健康についての教育（交通安全、薬物乱用防止、避難訓練等）を適切に行っている。
No. 15	教員やスクールカウンセラーが生徒の悩みや相談に親身になって応じている。
No. 16	生徒がケガや病気の時、適切な対応をしている。
No. 17	快適な学校環境を築くため、整備や美化に力を入れている。
No. 18	保護者と連携を図りながらP T A活動を適切に行っている。
No. 19	保護者会の回数、実施時期及び懇談内容は適切である。
No. 20	地域社会と連携した教育活動を通して、開かれた学校づくりをしている。
No. 21	教育活動に係る情報を、I C T機器を活用して積極的に発信している。
No. 22	教職員の電話対応や保護者への対応は適切である。
No. 23	土曜日授業や夏期特別授業は生徒の学習や学力向上に効果的である。
No. 24	スクールバスは安全で便利である。※スクールバス利用者のみ回答
No. 25	野田学園に入学させて良かったと思っている。



# 令和7年度学校評価報告書

分掌等	自己評価
学校運営全体	<p>今年度、高校部は「共創心」を、一貫部は「個性の尊重」を教育方針の中心に掲げ、共創心の育成、ICT機器を活用した個に応じた教育の推進、いじめの根絶、安心・安全な学校の構築等を共通の重点目標として、野田学園だからこそできる先進的な教育活動を推進してきた。</p> <p>アンケートの結果からは、ICT活用の探究学習や、防災・感染症対策による安全な学習基盤の構築は、生徒・保護者から高く評価され概ね目標を達成しているが、生徒の状況に応じた教育の具現化にはまだ改善の余地があり、来年度以降の課題として取り組みたい。</p>
総務課	<p>【成果と評価】</p> <p>保護者会の回数・期間・内容については、多くの保護者から適切であるとの高い評価を得られた。家庭との良好な連携基盤が構築されており、現在の運用が概ね支持されていることが確認できた。</p> <p>【課題と展望】</p> <p>今後はさらなる満足度向上と進路実現の支援に向け、学年や関係分掌と連携し、懇談内容の精査と充実を図る。既存の枠組みを活かしつつ、より一人ひとりのニーズに沿った情報提供のあり方を検討していく。</p>
生徒指導課	<p>【成果と評価】</p> <p>全体として概ね高い評価を維持しており、健全な学校生活の土台作りが進んでいる。</p> <p>【課題と展望】</p> <p>全ての項目で「9割以上の肯定評価」を得ることを目標に、組織的な対応を強化する。特に、いじめの未然防止に向けた教員間の共通理解の深化と、マナー指導における「全教職員による率先した声掛け」の文化を醸成し、安心・安全な環境作りを推進する。</p>
教務課	<p>【成果と評価】</p> <p>「授業評価アンケート」の結果を反映した授業改善や、考査データの分析に基づくフィードバックにより、生徒の理解度向上に寄与した。特に医進コースでの少人数指導や特別指導が成果を上げている。</p> <p>【課題と展望】</p> <p>一貫部における学習満足度のさらなる向上が次年度の焦点である。習熟度別授業やチームティーチング(TT)の効果を精査し、より生徒の実態に応じた指導体制の最適化を図る。</p>
進路指導課	<p>【成果と評価】</p> <p>これまでの進路支援の枠組みを維持しつつ、現状の課題をデータから明確化することができた。</p> <p>【課題と展望】</p> <p>一貫部の生徒・保護者のニーズに応え、6年間を見通した中高一貫校ならではの体系的な進路行事を再構築する。情報提供の質と頻度を向上させ、生徒が自発的に進路を考える機会を早期から創出していく。</p>
広報課	<p>【成果と評価】</p> <p>ICTを活用した積極的な情報発信が、全てのカテゴリーで高評価を得た。本校の教育活動の魅力が、ステークホルダーへ確実に伝わっていることが確認できた。</p> <p>【課題と展望】</p> <p>今後このトレンドを維持しつつ、さらに鮮度の高い情報を継続的に発信し、本校ブランドの信頼性を揺るぎないものにしていく。</p>
保健安全課	<p>【成果と評価】</p> <p>安全・健康教育については、生徒・保護者ともに高い満足度を得ることができた。生徒の悩みや相談に対しても、教員側は迅速かつ丁寧な対応を心がけており、一定の成果を上げている。</p> <p>【課題と展望】</p> <p>組織としての危機管理意識をさらに高めるため、教員対象の実践的な研修を計画する。また、潜在的な悩みを抱える生徒を早期に察知できるよう、アプローチ方法の多様化と、見守り体制の強化に努める。</p>
図書課	<p>【成果と評価】</p> <p>「本を読むことが楽しくなる図書館」を目指し、電子図書館の試験的導入を実施した。これにより、新たな利用者層の開拓に成功し、読書への関心を広げることができた。</p> <p>【課題と展望】</p> <p>今後は図書資源の充実に加え、iRoomの活用や人権教育に関連する講演会の実施など、図書館を「知の拠点」および「心の教育の場」としてさらに進化させていく。</p>
DX・知財教育推進室	<p>【成果と評価】</p> <p>ICT機器の環境整備および積極的な情報発信により、保護者・生徒から9割を超える極めて高い信頼を得ることができた。</p> <p>【課題と展望】</p> <p>ハード面の充実が達成されたため、次年度は「活用の質の向上」へとフェーズを移行する。教員がさらに自信を持って指導できるよう、校内の好事例を共有する研修へと転換し、教育効果の最大化を目指す。</p>

国際教育推進室	<p>【成果と評価】 設立初年度として、新たな国際教育の基盤づくりに着手した。</p> <p>【課題と展望】 今年度の立ち上げ経験を活かし、次年度は年間計画の早期策定と各工程の前倒し実施を徹底する。より準備期間を確保することで、プログラムのさらなる質の向上を図る。</p>
医進コース	<p>【成果と評価】 5・6年を中心に、生徒一人ひとりの志望に合わせたきめ細やかな進路指導を展開した。大学進学に向けた学力向上において着実な手応えを得ている。</p> <p>【課題と展望】 1年から4年においては、学習習慣の定着や意欲の醸成に一層注力する。個々の習熟度に応じたフォローアップ体制を強化し、「医進コース」としての高い志を共有できる集団づくりを推進したい。</p>
探究コース	<p>【成果と評価】 系統的な探究学習のカリキュラムを通じて、多くの生徒が情報収集や分析などのスキルを確実に向上させることができた。</p> <p>【課題と展望】 中学生における学習意欲のさらなる喚起を重点課題とする。高校進級を見据え、早期から基礎学力の底上げと探究意欲をリンクさせた指導プログラムを検討し、学力差の解消と意欲向上を並行して図っていく。</p>
グローバル探究コース	<p>【成果と評価】 英語SHRや海外修学旅行など、英語に特化した独自の教育課程を実践し、生徒の語学力向上とチャレンジ精神の育成において確実な成果を収めた。</p> <p>【課題と展望】 これらの強みを継続・発展させるとともに、得られた海外経験をいかに日常の学習深化に繋げていくかを検討し、コースの独自性をさらに磨き上げる。</p>
未来創造コース	<p>【成果と評価】 立ち上げ期の柔軟な対応により、生徒の高い満足度を引き出すことができた。管理職との連携を図りつつ、コースの方向性を確立させることに注力した一年であった。</p> <p>【課題と展望】 今後は「スクラップ・アンド・ビルド（選択と集中）」の視点を持ち、既存の枠組みを再編しながら、より洗練された独自の教育カリキュラムを構築していく。</p>
特別進学コース	<p>【成果と評価】 特進交流会や海外学生との交流、探究学習など、コースの特性を活かした独自行事を多彩に展開し、生徒の非認知能力の育成と学校生活の充実に繋げた。</p> <p>【課題と展望】 詳細なデータ分析に基づき、生徒・保護者のニーズをさらに深く汲み取った対応を検討する。コース独自の取り組みを深化させ、希望進路の実現に向けた指導体制をより強固なものにする。</p>
事務部	<p>【成果と評価】 継続的な運転者研修により、外部からの苦情が年々減少するなど、安全管理の徹底において着実な成果が出ている。</p> <p>【課題と展望】 スクールバスの利便性や満足度向上に向け、生徒の声を反映させた運用の見直しや、さらなる安全運転教育の徹底を図り、より安心して利用できる環境を整備する。</p>

学校関係者 評価委員会	<p>防災・感染症対策といった安全な学習基盤や、ICTを活用した探究学習については、高い評価をいただき、概ね目標を達成することができた。DX・広報面で高い信頼を得るとともに、授業改善や少人数指導が、生徒の理解度の向上につながった。</p> <p>安全管理の徹底により、全校を挙げて安心・安全な環境作りを進めている。また、海外研修や系統的な探究学習を通じて、語学力や非認知能力を育成しており、生徒の満足度を高く維持できている。</p> <p>一方、生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな指導や、学習満足度の向上には、改善の余地がある。そのため、整ったICTの環境を「活用の質の向上」へとシフトさせ、データ分析に基づいた体系的な進路指導を再構築していく。</p>
----------------	--